

日時

平成27年3月20日(金)

13:00～18:10

場所

筑波大学

(筑波大学 春日エリア 情報メディアユニオン)

参加無料
事前登録制

プログラム

第1部 (13:00～14:50)

1. 開会挨拶
2. 特別基調講演

- (1) 「ヘビー・サイエンス領域の
知識・技能集団に、
産業界・金融界が求めること。」

斉藤 剛

(株式会社経営共創基盤 パートナー/取締役マネージングディレクター)



- (2) 「つくばイノベーション・エコシステムに向けて
～実体験からの提言～」

山海 嘉之

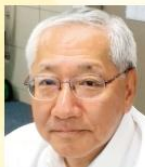
(筑波大学大学院教授・サイバニクス研究センター長
CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長/CEO)



- (3) 「つくばでの産官学連携を通じて、
より良い薬を生み出したい。
そのために求めたいこと。」

吉松 賢太郎

(エーザイ株式会社 エーザイプロダクトクリエーションシステムズ
シニアサイエンティフィックアドバイザー)



第2部 (15:05～16:45)

3. つくばの今を見直す～エコシステム確立の将来性と課題～

- (1) つくばをオープンな、組織横断的なプラットフォームとする取組の進展と課題
- (2) つくばの代表的プラットフォーム技術の現状とエコシステム基盤として発展させるための課題

第3部 (17:00～18:10)

4. つくばのイノベーション・エコシステム構築のアプローチを語る
(パネルディスカッション)

シンポジウム終了後

レセプション (18:20～19:20)

主催:



筑波大学

University of Tsukuba



文部科学省

後援: (独)産業技術総合研究所、(独)物質・材料研究機構、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、茨城県、つくば市

あなたがつくばを変える
イノベーション・エコシステム構築に向けて
シンポジウム「つくばにおけるイノベーション・エコシステム構築のあり方を考える」

趣旨

筑波研究学園都市は、昭和38年の閣議了解で建設が決定されて以来50年余りが経ち、政府系、民間合わせて300を超える研究機関や事業所が立地する知的生産の一大集積地域となっている。世界各国が、産業競争力強化のために先端技術シーズに基づくイノベーション、それによる新産業創出を激しく競っている中で、つくば地域が、知的生産集団主導による活発な産学官金の連携活動を通じて自律的に発展するイノベーション拠点となることへの期待がますます高まっている。

この期待に応えるべく、つくば地域の大学・研究機関間の連携、研究分野の融合を促進し、事業化にまで結び付ける機能を強化する取組が現在進められているものの、一方で、つくば地域が有する世界水準の研究ポテンシャルを考慮すれば、このような取組を強化するとともに、質的に変化させ、産学官金のプレーヤーが人材、資源を持ち寄り、相互作用することで自律的に発展していくエコシステムの早期実現を図るべき旨の指摘がなされているという事実もある。

このような現状認識に基づき、本シンポジウムにおいては、つくばの大学・研究機関、企業関係者のみならず、つくばの研究ポテンシャル、技術シーズに期待する産学官金の幅広い関係者の参画を得て、つくばにおけるイノベーション活動の現状とエコシステムの構築に関する課題について率直な議論を行い、課題克服のための新たなアプローチを模索する。



つくばエクスプレス (TX) から徒歩7分

プログラム (予定)

▶ 第1部 (13:00 ~ 14:50)

1. 開会挨拶

- (1) 川上 伸昭 (文部科学省 科学技術・学術政策局 局長)
- (2) 佐々木啓介 (経済産業省 経済産業政策局 産業資金課 課長(併) 新規産業室 室長)
- (3) 吉川 晃 (筑波大学 副学長)
- (4) 中村 道治 (つくばグローバル・イノベーション推進機構 理事長)

2. 特別基調講演

- (1) 齊藤 剛
(株式会社経営共創基盤 パートナー/取締役マネージングディレクター)
「ヘビー・サイエンス領域の知識・技能集団に、産業界・金融界が求めること。」

- (2) 山海 嘉之
(筑波大学大学院教授・サイバニクス研究センター長
CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長/CEO)
「つくばイノベーション・エコシステムに向けて～実験からの提言～」

- (3) 吉松 賢太郎
(エーザイ株式会社 エーザイプロダクトクリエーションシステムズシニアサイエンティフィックアドバイザー)
「つくばでの産学官連携を通じて、より良い薬を生み出したい。そのために求めたいこと。」

休憩 (15分)

▶ 第2部 (15:05 ~ 16:45)

3. つくばの今を見直す～エコシステム確立の将来性と課題～

- (1) つくばをオープンな、組織横断的なプラットフォームとする取組の進展と課題
岩田 普 ((独) 産業技術総合研究所 つくばイノベーションアリーナ推進本部 審議役)
- (2) つくばの代表的プラットフォーム技術の現状とエコシステム基盤として発展させるための課題
 - ・半導体 松川 貴 ((独) 産業技術総合研究所 ナノエレクトロニクス研究部門 上級主任研究員)
 - ・素材 一ノ瀬 泉 ((独) 物質・材料研究機構 先端的共通技術部門 高分子材料ユニット ユニット長)
 - ・バイオ 松村 明 (筑波大学附属病院 病院長)
 - ・食品 鍋谷 浩志 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所 食品工学研究領域 領域長)

休憩 (15分)

▶ 第3部 (17:00 ~ 18:10)

4. つくばのイノベーション・エコシステム構築のアプローチを語る

- (1) 産学官連携の意義を見直す
坂本 修一 (文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 課長)
- (2) パネルディスカッション
モデレータ 永野 智己 ((独) 科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー)
パネリスト
 - ・吾妻 勝浩 (富士通株式会社 法務・コンプライアンス・知的財産本部 ビジネス開発部 部長)
 - ・伊藤 毅 (Beyond Next Ventures株式会社 代表取締役社長)
 - ・坂本 修一 (文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 課長)
 - ・宮本 岩男 (経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進室 室長)
 - ・岡谷 重雄 ((独) 産業技術総合研究所 つくばイノベーションアリーナ推進本部 審議役)
 - ・内田 史彦 (筑波大学 教授 国際産学連携本部 本部審議役)
 - ・曾根 純一 ((独) 物質・材料研究機構 理事)
 - ・塩谷 和正 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構 理事)

18:10 終了

レセプション (18:20 ~ 19:20)

お申し込み方法 (参加無料・先着順・事前登録制)

■ WEBサイトから

WEBサイトにアクセスし、申込フォームよりお申し込みください。 <http://tsukuba-gi.jp/20150320sympo-uketsuke/>

■ FAXから

以下にご記入の上、FAX **029-853-5889**までお送りください。

※先着順となりますのでご参加いただけます方には、後日「参加証」をお送りいたします。

※収集した個人情報は本シンポジウムの開催・運営のみに利用し、その他の目的での利用・提供はいたしません。

※お問い合わせ先/つくばグローバル・イノベーション推進機構 【電話】029-853-5887 【E-mail】collabo.system@un.tsukuba.ac.jp

ご所属			
ご芳名			
メールアドレス	@	電話番号	-
シンポジウム参加	参加 ・ 不参加	レセプション参加 (会費1,000円)	参加 ・ 不参加